

## 認定校アンケートの集計について

「令和 2 年度 障がい者スポーツ指導員資格取得認定校 アンケート」へご協力をいただき誠にありがとうございました。ここに回答を集計いたしましたのでご報告させていただきます。

貴校での授業や活動の参考としていただけましたら幸いです。

### 【結果の要旨】

## ■障がい者スポーツ指導員新基準カリキュラム移行について

### 1.約 3 割の学校が新基準カリキュラムへの移行を完了している

令和 2 年度より導入された障がい者スポーツ指導員新基準カリキュラムへの移行について、既に移行を完了されている学校は 32%であった。旧基準カリキュラムと併行して進めている学校は 24%で、旧カリキュラムのみで進めている学校は 44%であった。

※カリキュラムの移行については、各学校の修業年数分の移行期間を設けておりますので、期間内に新カリキュラムに移行いただきますようお願いいたします。

### 2.新規科目の内容検討に苦慮している学校がある

新たに追加された以下の科目を読み替えるうえで、講義内容の構成、学校での読み替え科目の選択や新たな科目の設置等で苦慮しているという意見が寄せられた。

#### 【新規科目とは：基準カリキュラム 新旧対照表より】

NO	時間 (h)	授業形態	講習科目	目的	カリキュラムの柱・講義方法
初級	1.5	講義	スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質	スポーツにおけるインテグリティを理解し、プレイヤーズファーストの視点やプレイヤーとともに学び続ける姿勢について学ぶ。	・スポーツのインテグリティとは(スポーツ・インテグリティを脅かす要因・諸問題) ・スポーツ指導者に求められる資質・能力 ・障がい者スポーツ指導者の役割・心構え・視点 ・ボランティアの魅力、ボランティアの心得、留意点
	1.5	講義	障がい者スポーツ推進の取り組み	資格を取得した後に、地域で行われている教室や大会等へ積極的に関わられるように、地域の障がい者スポーツ振興の現状について学ぶ。	・各都道府県・政令指定都市の障がい者スポーツ推進の現状と課題 (日本障がい者スポーツ協会ビジョンを含む) ・障がい者スポーツ指導者制度の概要 ・地域の障がい者スポーツ協会や指導者協議会について ・資格取得後の活動方法と情報入手方法
	1.5	講義 演習	コミュニケーションスキルの基礎	障がい者スポーツ指導者として必要なコミュニケーションスキルやソーシャルスキルの基礎を学ぶ。	・よいコミュニケーション、よいプレゼンテーションのための留意点 ・よい人間関係をつくるために必要なこと ・スポーツ指導者に求められるコミュニケーションスキル ・障がい特性に応じたコミュニケーション方法 ・実践、演習を通して入前で話すこと、相手の意見を傾聴することを体験する
中級	1.5	講義	リスクマネジメント	リスクマネジメントに関する基礎知識を学び、障がい者スポーツ指導現場における事例を学ぶ。	・事故を未然に防ぐための準備(リスク予測・準備と事後対応) ・スポーツ活動場面別のリスクマネジメント(大会・教室・イベントなど) ・障がい者スポーツ指導現場におけるリスクマネジメント(事例の紹介) ・情報共有の重要性
	3.0	講義 演習	障がい者スポーツ指導員としてのキャリア形成	過去と将来の指導者としてのキャリアを考え、自身の指導者像を形成する。	・キャリア形成の重要性・キャリア形成のイメージづくり(事前課題の作成、提出、発表) ・グループワークの実施 (「障がい者スポーツ指導者のあるべき姿とは?」「障がい者スポーツ指導の魅力と難しさとは?」等をテーマ) ・時間の最後に「自身の指導者像、今後の取り組み」についてまとめる
	1.5	講義	地域における障がい者スポーツ振興	障がい者スポーツに関わる諸団体や関係所管について理解し、連携することの必要性について学ぶ。	・地域における障がい者スポーツ団体等の役割・活動(障がい者スポーツ協会・障がい者スポーツ指導者協議会) ・地域の関係団体との連携の必要性・意義・あり方(行政、福祉、教育、医療、スポーツ関係団体等) ・「地域における障がい者スポーツ振興事業」の事業事例 ・認定校では地域の障がい者スポーツ協会、指導者協議会の方に講師を務めてもらうことが望ましい

参考) 移行が完了した学校での読替事例 (申請書類より抜粋)

## 初 級

### 「スポーツインテグリティと指導者に求められる資質」

- 体育系・スポーツ系科目：「スポーツ指導論」「コーチング論」
- 福祉系科目：「社会福祉援助技術論」「介護概論」「ボランティア概論」
- その他：「〇〇実習指導」 外部実習に何う前の事前指導の一環として

### 「コミュニケーションスキルの基礎」

- コミュニケーション学 ・ コーチング論 ・ スポーツマネジメント
- 学生にとっての基礎項目 (心構え、セルフマネジメント、学修方法等) を学ぶ科目の中に含まれる

### 「障がい者スポーツ推進の取り組み」

- 地域の障がい者スポーツ協会、障がい者スポーツセンターの職員等に外部講師・ゲストスピーカーとして来校していただき、現状を紹介いただく

## 中 級

### 「障がい者スポーツ指導員としてのキャリア形成」

- 「キャリアマネジメント」「キャリアデザイン概論」
- その他、社会人としての知識スキルを学ぶ科目

## ■今年度の講義状況について

### 1. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で8割以上の学校が「オンライン授業」で対応

昨年度末より全国的に蔓延した新型コロナウイルス感染症の拡大で、障がい者スポーツ指導員資格申請に必要な科目をオンライン授業のみで実施した学校は31%であった。オンライン授業と対面授業を併用して実施した学校は50%で、81%の学校がオンライン授業を取り入れていることが分かった。

### 2. 「障がいのある人との交流」や「スポーツ実技の内容構成」に苦慮している学校が多い

オンライン授業でとくに苦慮している点として、障がいのある人との交流ができなくなったと回答した学校が約40%あった。外部講師を学内へ招くことや福祉施設訪問等の学外実習ができなくなったことが主な要因であった。また、スポーツ実技の内容構成に苦慮していると回答した学校が約30%あり、画像や動画を始めとした障がい者スポーツに関する教材の充実化を求める意見が多かった。

参考) 今年度、コロナ禍における交流や実技の事例 (アンケートより抜粋)

- ・ 春学期開講科目を全て秋学期開講に変更して対応
- ・ 内容は簡易な見学と体験であるが、少人数規模で障がい者との交流を行った
- ・ 障がい者スポーツ大会の中止により、昨年度までの動画を見せて座学対応で読み替えた
- ・ 障がいのある人とのオンラインでの交流 (意見交換や情報交換) は実施できた
- ・ 感染対策を十分行った上で、体育館での実技が実施できた